

掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター

〒436-8555 静岡県掛川市菖蒲ヶ池1番地の1
 TEL.0537-21-5555(代) FAX.0537-28-8971

最新の情報はホームページをご覧ください

➡ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

中東遠 検索



令和2年9月



日本医療機能評価機構
 認定第 JC2093 号



掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター
 病院案内



+ 基本理念

中東遠総合医療センターは、掛川市及び袋井市をはじめとする中東遠地域の基幹病院として、すべての人に質の高い医療を提供し、愛され、信頼される病院を目指します。

+ 基本方針

1. 地域連携のもとに、地域住民にとって必要とされる患者中心の質の高い医療を提供します。
2. 地域の救急体制の核として、充実した救急医療を行います。
3. 保健・医療・福祉の連携のもとに、地域住民の健康増進と健康管理に貢献します。
4. 災害時には命を守るための拠点となります。
5. 職員が誇りと働きがいを持って地域医療に尽くすことができる職場環境を整備します。
6. 良質な医療を提供するため、教育、研修を充実します。
7. 持続的かつ安定的な健全経営を実現します。

+ 患者さまの権利

1. あなたは、いつでも人間としての尊厳を尊重されます。
2. あなたは、差別なく適切な医療を受けることができます。
3. あなたは、検査や治療方法について十分な説明を受けることができます。
4. あなたは、自らの意思で医療機関や検査と治療方法を選択することができます。
5. あなたは、主治医以外の医師からの意見(セカンドオピニオン等)を聞くことができます。
6. あなたの個人情報は保護されます。



掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター
企業長兼院長
みやち まさひこ
宮地 正彦

より質の高い医療提供による
地域医療への貢献と、
医療を目指す若者の育成に
全力を尽くすことをお約束します。

当院は、平成25年5月1日、掛川市立総合病院と袋井市立袋井市民病院とが統合し、全国で初めてとなる2つの市民病院の統合新病院として開院しました。

当院の使命は、中東遠医療圏46万人の基幹病院として必要とされる質の高い急性期医療を提供するとともに、災害時には拠点病院として、さらには医療を目指す若者を育てる臨床研修病院としての役割を果たしていくことにあります。

また、市民の期待が非常に高い救急医療分野においては「断らない救急」を目指しており、平成27年8月に指定を受けた「救命救急センター」の円滑な運営に万全を期してまいりたいと考えております。

この病院統合は、国が推し進める地域医療再生や公立病院改革の先駆的取り組みとして、掛川市・袋井市はもとより、国、県、大学をも巻き込んだ事業であり、是が非でも目的を果たすことが求められていると認識しています。開院後7年が経過しましたが、医師をはじめとする医療スタッフも着実に増加し、現在では当圏域の基幹病院としての体制が整いつつあります。この基盤をさらに強固なものとし、将来にわたり安全・安心な医療提供ができる体制づくりに努めてまいります。

当院は、開院以来、「医療の質の向上」、「健全経営体制の構築」、「臨床研修機能の強化」の3つの課題を重点項目として掲げ、診療の質と病院機能の向上に努めてまいりました。平成28年8月には「地域医療支援病院」にも承認されました。また、平成29年9月には「輸血機能評価認定病院」に、平成30年4月には(一社)日本臨床衛生検査技師会から「精度保証施設」、(公社)日本診療放射線技師会から「医療被ばく低減施設認定」にそれぞれ認定され、令和元年10月には「静岡県地域がん診療連携推進病院」に指定されました。今後も診療体制の増強、安定に向け邁進してまいります。

教育・研修面においては、質の高い医療はチーム医療により成し遂げることができる「病院の質＝職員の質」という信念のもと、すべての医療スタッフに良質で、しっかりとした研修を計画的に実施していきます。また、医療を目指す若者に対しては、良質な医療人の育成のための教育に熱意を持って取り組みます。

初期臨床研修医も開院以降着実に増加し、平成30年度以降はフルマッチを継続しています。将来にわたり安定的な医師確保につなげるためにも、教育・研修については病院を挙げて取り組んでまいります。

急速な高齢化が進む中、医療、病院を取り巻く環境は一層の厳しさを増しています。しかしながら、当院は当圏域には無くてはならない病院であり、その期待と役割に応えるため、職員一丸となって地域医療に全力で貢献することをお約束します。

今後も中東遠医療圏の基幹病院として、すべての人に質の高い医療を提供し、愛され、信頼される病院を目指してまいります。

+ 病院概要

病院名 掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター

開設者 掛川市・袋井市病院企業団

所在地 〒436-8555 静岡県掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

開院日 平成25年5月1日

病床数 500床(うち、一般病床496床/感染症病床4床)

施設規模 鉄骨造(免震構造)/地上8階
敷地面積/137,218.53㎡
延床面積/46,151.55㎡(付属施設含む)
駐車場/1,556台
(一般用731台・職員用825台)

診療科目 (33科)
総合内科/糖尿病・内分泌内科/腎臓内科/血液・腫瘍内科/
脳神経内科/呼吸器内科/消化器内科/循環器内科/外科/
消化器外科/血管外科/乳腺外科/小児外科/呼吸器外科/
人工透析外科/整形外科/リウマチ科/脳神経外科/小児科/
産婦人科/泌尿器科/皮膚科/眼科/耳鼻いんこう科/
放射線診断科/腫瘍放射線科/麻酔科(緩和ケアチーム)/
リハビリテーション科/歯科口腔外科/精神科/病理診断科/
臨床検査科/救急科

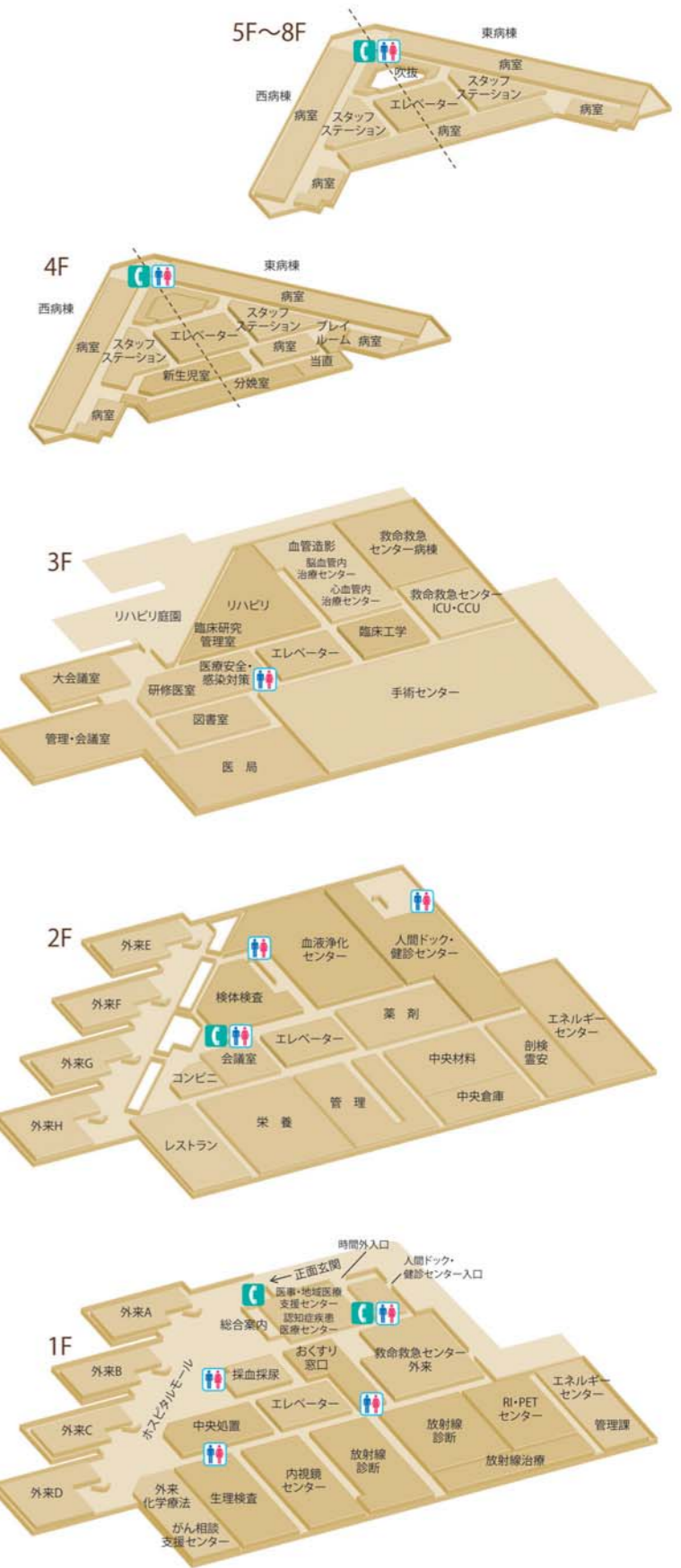
センター
救命救急センター/ICU・CCUセンター/心血管内治療センター/
脳血管内治療センター/手術センター/脊椎・脊髄センター/
手外科センター/消化器病センター/内視鏡センター/
血液浄化センター/睡眠医療センター/
認知症疾患医療センター(認知症サポートチーム)/PETセンター/
IVR・画像診断センター/臨床研修センター

想定される南海トラフ巨大地震などの災害時には、災害拠点病院としての役割を果たせるよう、建物は免震構造を採用。自家発電装置やヘリポートを設置するなど、24時間365日の医療継続に対応します。

+ 階層図

西病棟	東病棟
8F 消化器内科/総合内科	血液・腫瘍内科/糖尿病・内分泌内科 腎臓内科/人工透析外科
7F 循環器内科	呼吸器内科/眼科
6F 脳神経内科(睡眠医療センター) 脳神経外科/総合内科	脳神経外科/泌尿器科
5F 整形外科/リウマチ科	外科/整形外科/眼科
4F 産婦人科/整形外科 眼科	小児科/歯科口腔外科 耳鼻いんこう科/皮膚科
3F 救命救急センター病棟/手術室(11室)/ICU・CCU 血管造影室/リハビリ ほか	
2F 外来部門/血液浄化センター/人間ドック・健診センター 売店・レストラン ほか	
1F 外来部門/採尿採血/救命救急センター外来 放射線部門 ほか	

+ フロア案内



外來A 整形外科	外來B 脳神経外科 循環器内科 脳神経内科 人工透析外科 血液・腫瘍内科	外來C 腎臓内科 糖尿病・内分泌内科 総合内科 呼吸器内科	外來D 麻酔科 消化器内科 歯科口腔外科
外來E 産婦人科	外來F 泌尿器科 皮膚科	外來G 小児科	外來H 眼科 耳鼻いんこう科

医療施設のご案内

ホスピタリティあふれる 快適な環境

+ 外来

1階と2階にある、通路が広く開放的なホスピタルモールを軸に、受付や会計窓口があり、その向かい側には外来ブロックが並んでいます。大規模な災害が発生した場合、このホスピタルモールが救急患者の受け入れ場所となり、応急処置を行います。

2階には、レストラン、コンビニエンスストアや図書コーナーがあり、待ち時間を快適に過ごすことのできるスペースとなっています。

+ 病棟

病棟は北向き三角形の形態となっています。どの病室にもバランスよく自然の光を取り込むことができ、やすらぎのある療養環境を創り出しています。

病室は主に4床室と個室からなり、4床室は従来より広いスペースを確保し、個室の数も将来を見込み、十分に設置しています。病棟のほぼ中央にスタッフステーションが位置しており、各病室との距離が短く、効率的な配置となっています。

抜群の立地環境

新幹線掛川駅から車で5分にも関わらず、自然と緑に囲まれた抜群の立地環境となっています。建物内部も自然光を取り入れた安らぎを感じるコンセプトとなっており、病棟からは世界遺産「富士山」も眺望できます。



外来Cブロック受付



受付・会計窓口



外来中待合



4床室



有料個室(特別室)



ダイニングルーム



スタッフステーション



病室からの眺め

早期治療と早期退院を 目指して

+ リハビリテーション

患者さんの早期治療と早期回復を目指し、主に入院中に行う急性期リハビリを充実させています。

室内は西側の大きな掃き出し窓から差し込む光で、明るく開放的なつくりとなっています。また、外来部門の屋上に設置されているリハビリ庭園では、のびのびとした雰囲気の中で、リハビリを行うことができます。



リハビリ庭園



リハビリ室



リハビリ室

専用フロアでゆったりと健診

+ 人間ドック・健診センター

1階専用出入口から直接エレベーターで2階の受付へ上がります。専用フロアはゆったりとした上質な空間になっており、ラウンジや食堂でくつろいでいただけます。

健診をスムーズに受けられるよう、分かりやすい健診ルートを設定し、人が交差しないよう諸室を配置しました。



人間ドック受付



人間ドック 診察室



トモシンسيسを搭載したマンモグラフィ装置

トモシンسيس(3Dマンモグラフィ)という新しい技術を搭載したマンモグラフィ装置を導入しました。従来と比べて乳腺の状態を明瞭に観察できることから、より正確な「乳がん」の診断が可能になりました。



人間ドック 専用食堂

高度医療 ～センター化による医療の特化～

高度医療の心臓部

+ 救命救急センター

救急車やドクターヘリによる緊急の重症患者の受け入れや治療がスムーズにできる機能を備えています。救命救急センター病棟は、20床(ECU14床とICU・CCU6床)を配置し、重症患者への万全な治療体制を整えています。



ICU・CCUセンター



救命救急センター専用口



救命救急センター病棟

+ 脳血管内治療センター

+ 心血管内治療センター

一刻を争う脳卒中や心筋梗塞などの治療を24時間365日迅速な診断、治療を行う体制を整えています。また、最新の設備と高度な技術により、今まで困難であった疾患に対しても対応できる環境となっています。



脳血管内治療センター



心血管内治療センター

+ 手術センター

高度な手術にも対応できるよう、手術室を11室配置しており、同じ3階には、脳血管内治療センター・心血管内治療センターや救命救急センター病棟を近接に配置しています。1階の救命救急センター外来ともエレベーターで直結しているので迅速な救急対応が可能です。

また、平成29年2月には手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、前立腺がんなどに対する、より安全かつ低侵襲な手術が実施できる体制を整えました。



ダヴィンチ手術風景

関連する診療科と連携して行う

総合的な睡眠医療

+ 睡眠医療センター

日本睡眠学会の認定(A型認定医療機関)を受けた、睡眠医療の専門施設です。総合病院の睡眠医療センターとしては、現時点では静岡県唯一です。上記学会の認定を受けた、専門医、専門技師により、睡眠疾患全般の診療を行っています。



睡眠医療センター



睡眠医療センター

高度な先進医療システムを備えた14のセンター機能により、質の高い医療の提供が可能となっています。

救命救急センター

ICU、手術センター、脳血管内治療センター・心血管内治療センターともエレベーターで隣接し、24時間365日体制で救急患者の治療に全力を尽くします。

ICU・CCUセンター

手術センター、脳血管内治療センター・心血管内治療センターとも隣接し、24時間365日体制で重篤な救急患者の治療に全力を尽くします。

心血管内治療センター

狭心症や心筋梗塞などのカテーテル治療を行います。1分1秒を争う循環器疾患に対し、迅速に対応します。

脳血管内治療センター

脳出血や脳梗塞、クモ膜下出血などの脳卒中疾患に対して24時間365日体制で治療にあたります。

手術センター

同じ3階には、脳血管内治療センター・心血管内治療センターや救急病棟、ICU・CCUもあり、迅速な救急対応が可能です。

脊椎・脊髄センター

顕微鏡を用いて身体に負担が少なく安全性の高い手術を行います。脳神経外科と連携し、治療を総合的かつ継続的に実施します。

消化器病センター

消化器疾患に対して、内科と外科がこれまで以上に連携して、症状に応じて迅速かつ適切な診療を行います。

内視鏡センター

内視鏡的超音波装置により、食道や胃、十二指腸のほか肝臓、胆のう、膵臓などの検査や治療も可能です。

血液浄化センター

維持透析療法のみならず、各種血液浄化療法の対応も可能です。地域の中核となる透析施設としての役割を果たします。

睡眠医療センター

睡眠時無呼吸症候群などの睡眠障害の原因となる疾患を診断し、その重症度に応じた適切な治療を行います。

認知症疾患医療センター

認知症疾患における鑑別診断や地域の医療機関等への紹介、問題行動への対応について相談を行います。

PETセンター

がんの早期発見や正確な診断を目的として、中東遠地域で初めて、最新鋭のPET/CT装置を導入しました。

IVR・画像診断センター

肝臓がんをはじめとする悪性腫瘍の治療(動注塞栓術、RFAなど)、各種ドレーナージや経皮的生検などを行っています。また、外傷性出血や産科出血などの緊急のIVRIにも迅速に対応しています。

手外科センター

手や肘など主に上肢における外傷・関節症・神経障害・循環障害などのさまざまな疾患に対し、専門的治療を行います。

最先端の放射線機器による質の高い診断・治療

PET/CT、SPECT/CT、CT、MRI、リニアックなど、最先端の放射線機器を揃え、質の高い検査や治療を行います。緊急時に迅速に対応するため、救命救急センターと放射線部門を近くに配置しています。



+ PET/CT (ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影装置)

PETとは、がんが集積する薬剤を注射して全身のがんを診断する方法です。CTを組み合わせたPET/CTでは、正確な位置や形も調べることができます。



+ SPECT/CT

SPECT装置にX線CT装置を組み合わせた装置です。CT画像を利用して正確で詳細な集積画像を得ることができます。



+ リニアック (放射線治療装置)

放射線を人体に当て、体内のがん細胞を死滅させます。当センターのリニアックは、がんの部分だけをピンポイントで治療することが可能な高精度放射線治療装置です。



+ 血管造影装置

低被ばくで質の高い画像を提供し、3Dなどの高度な画像再構成機能を持った最新の装置で、最先端の血管内治療をサポートします。



+ CT (コンピュータ断層撮影装置)

様々な検査に迅速に対応するため、3台の装置(2管球2検出器を備えたデュアルソースCT、256列ヘリカルスキャンCT、64列ヘリカルスキャンCT)が24時間365日稼働しています。



+ MRI (磁気共鳴画像診断装置)

X線を使わずに、磁場と電波を使って体の中を見る画像診断装置です。強磁場を用いた3テスラ®と1.5テスラ®の2台の装置で様々な部位の検査に対応しています。
※磁束密度の単位(磁場の強度を表します)



+ 結石破砕装置

体外からの衝撃波により、開腹することなく結石を細かく砕く装置です。破片は尿や胆汁と共に体外へ排泄されます。腎・尿管・胆道結石に用います。

医療人の育成

医師臨床研修

最新鋭の医療設備の中で
充実したスタッフが研修生活をサポートします。

+ 高水準の診療

中東遠医療圏の基幹病院として、主要な診療科のスタッフが全て揃い、医師としての基本的手技の習得とともに、高水準で良質な急性期医療の研修が受けられます。特に救急医療は救急搬送受入が年間5,500件を越え、様々な症例について救急専門医が指導し、救命救急センター外来での診療からICUでの高度集中治療まで充実した研修が可能です。

+ 最新鋭の設備

高度医療を支える最新鋭の血管造影撮影装置、CT、MRIを導入しており、質の高い医療を研修できます。また、最新鋭の放射線治療装置と中東遠地域で唯一のPET/CTを備え、がん診療においても十分な研修が可能です。

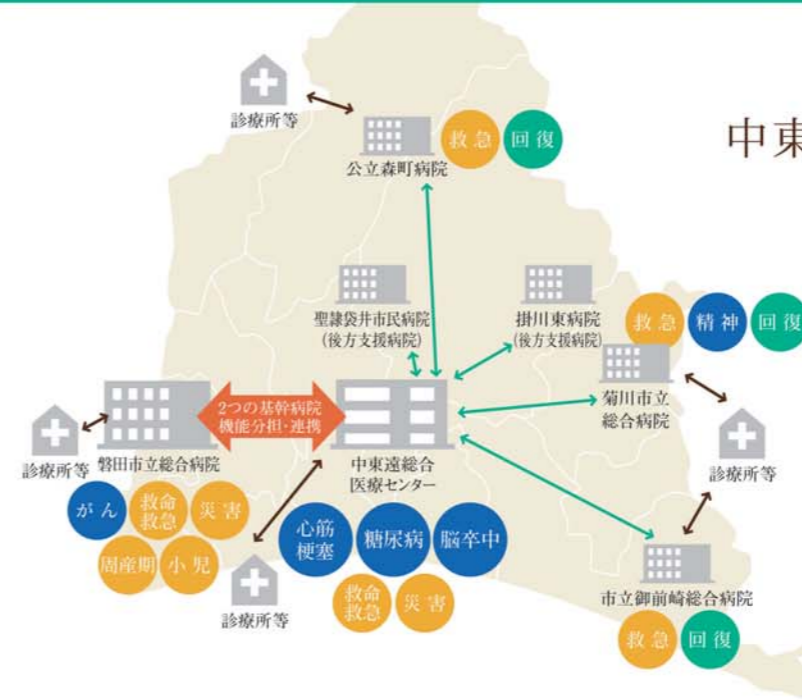
全職員研修

医師、看護師、コ・メディカル、それぞれの職種における専門的な研修に加えて、経験年数に応じた「ステップアップ研修」や医療安全管理研修、感染対策研修などの「共通研修」を実施し、医療人としての質の向上に努めています。



経験年数	1年目	2~6年目	7年目~主任	主任~	管理職
研修目標	ステップ1 「職場適応」	ステップ2 「チーム参画」	ステップ3 「チーム運営」	ステップ4 「部署運営」	ステップ5 「病院運営」
ステップアップ研修	フォローアップ研修	コミュニケーション研修	リーダーシップ研修	コーチング研修	マネジメント・経営
共通研修	医療安全管理研修・感染対策研修・接遇研修・医療倫理研修・保険診療研修・個人情報保護研修・院内BLS など				

医療連携の推進



中東遠総合医療センターの役割

中東遠医療圏の基幹病院として、地域の皆様へ将来にわたり質の高い医療を提供するため、中東遠総合医療センターは生まれました。公立病院間の機能分担・医療連携を推進するとともに、開業医、他病院、介護施設、保健施設等との連携を強化し、圏域全体で持続可能な医療体制の確立を目指してまいります。

- 5疾病 がん 心筋梗塞 糖尿病 脳卒中 精神
- 5事業 救急 へき地 災害 周産期 小児

沿革

〈開院前〉

- 平成18年 2月 / 袋井市「今後の病院のあり方に関する検討委員会」設置
- 平成18年 8月 / 掛川市「掛川市立総合病院のあり方に関する検討委員会」設置
- 平成18年10月 / 袋井市の検討委員会が提言「掛川市立総合病院との統合が望ましい」
- 平成19年 1月 / 掛川市の検討委員会が提言「袋井市との統合、並びに菊川市、御前崎市など近隣自治体との連携、統合、再編による新病院を目指すべき」
- 平成19年 8月 / 両市議会で掛川市と袋井市の2市での統合協議開始を了承
- 平成19年12月 / 「掛川市・袋井市新病院建設協議会」設置
約1年間にわたり、将来像、規模、建設場所、経営形態、建設時期を協議
- 平成20年12月 / 協議会が「掛川市・袋井市新病院基本構想」策定
- 平成21年 1月 / 基本構想を踏まえて、両市の間で新病院建設に関する協定書を締結
- 平成21年 3月 / 掛川市土地開発公社が「新病院建設用地」を取得
- 平成21年 7月 / 「掛川市・袋井市新病院建設事務組合」設立
- 平成21年12月 / 中東遠地域医療再生計画に対し、地域医療再生基金25億円の交付が内定(新病院には9.3億円)
- 平成22年 3月 / 新病院建設基本計画策定
- 平成22年 5月 / 新病院建設用地造成工事着工
- 平成22年 6月 / 新病院基本設計完了
- 平成23年 3月 / 新病院実施設計完了
- 平成23年 7月 / 新病院建設工事安全祈願祭
- 平成23年12月 / 新病院の名称が「中東遠総合医療センター」に決定
- 平成24年 1月 / 新病院の開院日が平成25年5月1日に決定
- 平成25年 3月 / 中東遠総合医療センター竣工式・内覧会
- 平成25年 4月 / 掛川市・袋井市病院企業団設立

〈開院後〉

- 平成25年 5月 / 中東遠総合医療センター開院・院内保育園「こり保育園」開園
- 平成25年 5月 / 災害拠点病院に指定
- 平成26年 4月 / QIプロジェクト参加
- 平成26年 4月 / 平成26年度の機能評価係数IIがIII群病院のうち県内1位(全国108位)
- 平成26年 8月 / 総合入院体制加算届出
- 平成27年 3月 / (一社)日本医療福祉建築協会「医療福祉建築賞2014」にて準賞を受賞
- 平成27年 8月 / 静岡県下で10番目となる「救命救急センター」に指定
- 平成27年 8月 / 消化器病センターを開設
- 平成28年 3月 / (公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価で機能種別「一般病院2」に認定
- 平成28年 4月 / 平成28年度の機能評価係数IIがIII群病院のうち県内1位(全国20位)
- 平成28年 8月 / 静岡県下で20番目となる「地域医療支援病院」に承認
- 平成29年 2月 / 手術支援ロボット「ダヴィンチ」導入
- 平成29年 3月 / 新公立病院改革プラン策定
- 平成29年 9月 / 輸血機能評価認定病院に認定
- 平成30年 4月 / 「がん相談支援センター」、「緩和ケア外来」開設
- 平成30年 4月 / (社)日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設」に認定
- 平成30年 4月 / (公社)日本診療放射線技師会「医療被ばく低減施設」に認定
- 平成30年 4月 / (一財)公共建築協会「第16回公共建築賞 優秀賞」を受賞
- 令和元年10月 / 静岡県地域がん診療連携推進病院に指定
- 令和2年 4月 / 手術センターを開設